巻頭論文

事業競争力強化と情報システム

小田島孝好*　太田　太**

Making Full Use of Information Systems to Strengthen the Competitiveness of Our Business

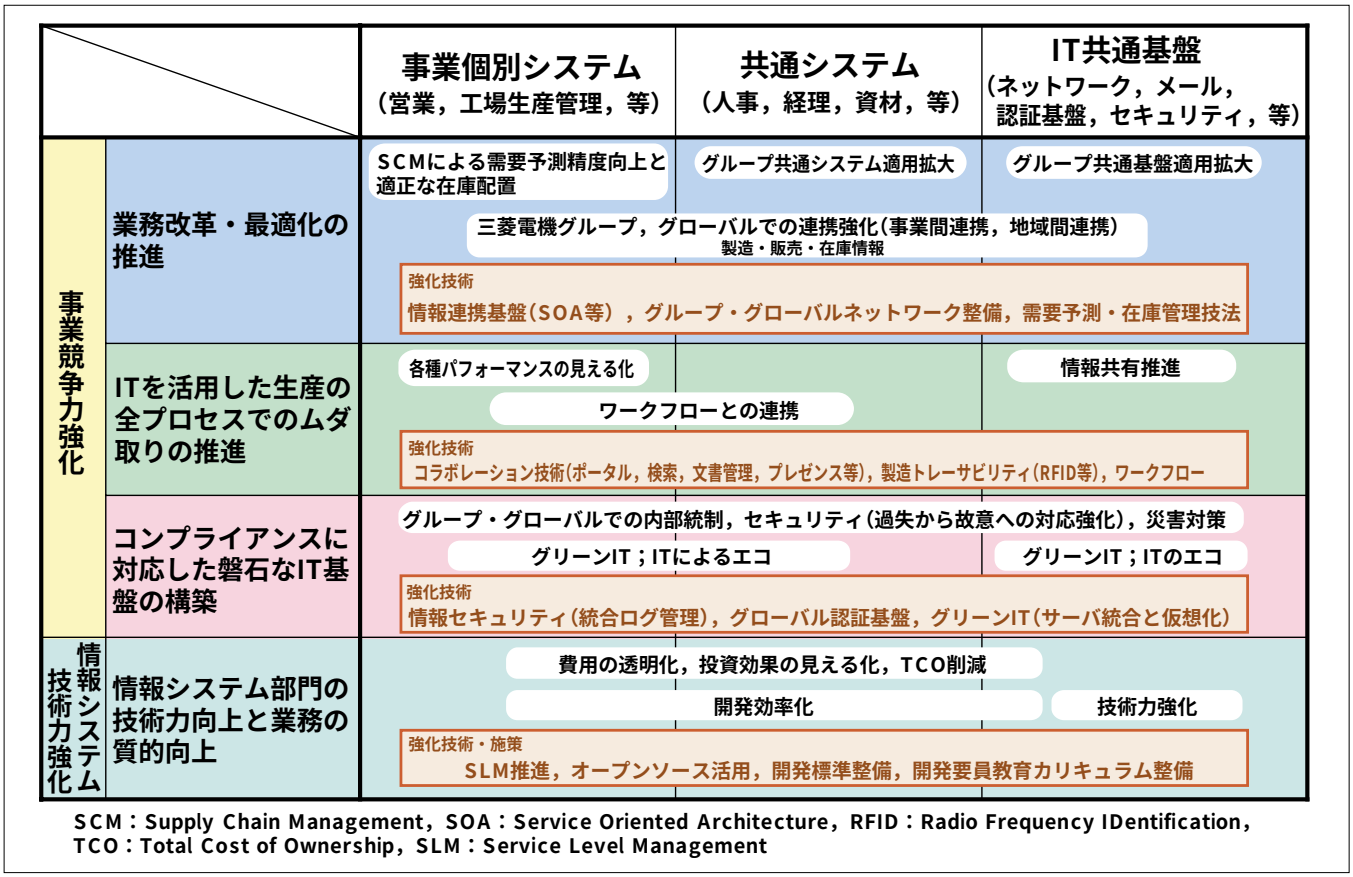
Takayoshi Odajima, Dai Ohta

要　旨

企業における情報システムの役割は，間接部門における業務の合理化・スピードアップの手段に始まり，近年では事業競争力の強化を目的としたサプライチェーン全体にわたる業務革新の推進役へと進化・拡大してきている。加えて，情報漏洩(ろうえい)事件や企業会計の不正処理事件の対策として，情報セキュリティや内部統制への取り組みを強化するとともに，環境経営の視点からもGreen ITの取り組みを加速するなど，企業活動における様々な課題を解決する仕組みとして大きな役割を担っている。

三菱電機の情報システム部門でも，「事業競争力強化に向けた業務改革・最適化の推進」「ITを活用した生産の全プロセスにおけるムダ取りの推進」「コンプライアンスの徹底と事業継続性確保に対応した磐石(ばんじゃく)なIT基盤の構築」を活動方針として諸施策に取り組んでいる。

本稿では，情報システム部門の役割の変遷を振り返るとともに，事業競争力強化やコンプライアンスの徹底の課題を解決するために，“どのように情報システムが活用されているか”，また“今後想定される新たな課題にいかに取り組むべきか”について業務革新の視点と情報技術の視点から述べる。



SCM：Supply Chain Management，SOA：Service Oriented Architecture，RFID：Radio Frequency IDentification，TCO：Total Cost of Ownership，SLM：Service Level Management

事業競争力強化に向けた情報システムの取り組みと強化技術

当社における情報システムは，事業ごとに最適化された事業個別システムと，人事・経理・資材等の経営管理プロセスをグループ共通に提供する共通システム，さらにネットワーク・メール・認証基盤等のIT共通基盤によって構成される。

当社では事業競争力強化に向け，“業務改革・最適化の推進”“ITを活用した生産の全プロセスにおけるムダ取りの推進”“コンプライアンスに対応した磐石なIT基盤の構築”を活動方針として取り組んでいる。これらの取り組みにあたっては，強化すべき情報システム技術を世の中の技術動向を踏まえて抽出選択し，標準化，共通化を推進している。

*情報システム技術センター長　**同センター 情報システム技術部長